

## 抄読会

統計モデリングについて

修士課程1年 下田真優

### 概要

データ解析においては、あるデータに基づいて何を主張してよいのかを限定するために、データとの対応が明示されている統計モデルが必要である。今回の抄読会では「データ解析のための統計モデリング入門 一般化線形モデル・階層ベイズモデル・MCMC」を読み、勉強した内容について発表を行う。植物から採取した種子の生存確率を例に、二項分布を使った一般化線形モデルについての紹介を行い、その後、個体差、場所差などを表現することのできるランダム効果を統計モデルに組み込んだ一般化線形混合モデル、さらに統計モデルが複雑となった際にもマルコフ連鎖モンテカルロ (MCMC) 法と組み合わせることで活用できる階層ベイズモデルについての紹介を行う。

### 参考文献

久保拓也, データ解析のための統計モデリング入門 一般化線形モデル・階層ベイズモデル・MCMC, 岩波書店, 2012